

全国月間火山概況（平成 25 年 1 月）

霧島山（新燃岳）では、今期間、噴火は発生せず、火山活動に特段の変化は見られませんでした。新燃岳の北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止した状態が続いています。しかし、火口には多量の溶岩が溜まっており、火口直下の火山性地震がわずかながらも続いていることから、現在でも小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。新燃岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しています。

桜島では、爆発的噴火を含む活発な噴火活動が継続しました。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しています。

三宅島では、22 日 16 時 38 分頃山頂火口でごく小規模な噴火が発生しました。白色の噴煙が火口縁上 200m まで上がり、南東方向に流れました。同日夕方に実施した現地調査では島の東側山麓（山頂火口から約 3 km）でごく少量の降灰を確認しました。やや多量の火山ガスの放出が続いています。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

箱根山では、11 日ころから駒ヶ岳付近の浅い所を震源とする地震が増加しています。気象庁の体積ひずみ計や神奈川県温泉地学研究所の傾斜計による地殻変動観測では、山体の膨張を示すわずかな変化がみられています。国土地理院の地殻変動観測結果では、2012 年末頃から、箱根山周辺の一部の基線にわずかな伸びの傾向がみられています。箱根山では、2001 年 6 月から 10 月にかけて地震が多発し、国土地理院等の地殻変動観測結果でも山体の膨張を示す変化がみられ、噴気活動が活発化しました。現時点では、観測されている地殻変動は小さく、噴煙等の状況に特段の変化はみられず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）が継続しています。

その他の火山の活動状況に特段の変化はありません。

2 月 6 日現在の各火山の噴火警報及び噴火予報等の発表状況は表 1 のとおりです。

表 1 2 月 6 日現在の噴火警報及び噴火予報等の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	霧島山（新燃岳）、桜島
	レベル 2（火口周辺規制）	三宅島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島*
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福德岡ノ場*
噴火予報	レベル 1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、浅間山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島、口永良部島、
	平常	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、アトサヌブリ、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、婿婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。



図1 噴火警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

蔵王山【噴火予報(平常)】

22日09時台と27日の09時台を中心に、蔵王山付近のやや深い場所が震源と推定される低周波地震が一時的に連続して発生しましたが、火山性地震の月回数は26回で低調に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。低周波地震が増加した時間帯を含む今期間、遠望観測等に特段の変化は観測されておらず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

低周波地震が一時的に連続して発生しましたが、火山活動に特段の変化は認められず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

白山【噴火予報(平常)】

31日20時42分頃に白山北側の深さ3kmを震源とするマグニチュード(M)3.3の地震が発生し、岐阜県高山市荘川町と岐阜県飛騨市河合町で震度1を観測しました。この地震の後に、余震と思われる地震が一時的に増加しましたが、22時頃より徐々に減少しました。また、2月1日15時19分頃(期間外)に、前日(31日)と同様の白山北側の深さ3kmを震源とするM3.4の地震が発生し、石川県白山市白峰、富山県南砺市下梨、南砺市上平細島、岐阜県高山市荘川町、白川村鳩谷、飛騨市河合町元田、福井県大野市朝日で震度1を観測しました。その後、余震と思われる地震が一時的に増加しましたが、17時頃より徐々に減少しています。低周波地震や火山性微動は観測されていません。

白峰(白山山頂の西12km)に設置してある遠望カメラによる観測では、視界不良のため不明の期間がありますが、その他の期間は山頂部に噴気は認められませんでした。

白山では、これまでも浅部を震源とする地震が一時的に多発することがあり、最近では、2012年10月27日21頃から28日02時頃にかけて同様の現象が発生しています。また、2005年10月3日には、石川県白山市白峰で震度2を観測する地震(M4.5)が発生し、その後地震活動が一時的に活発化したことがあります。

一時的な地震の増加が見られましたが、火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

箱根山【噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)】

駒ヶ岳付近の浅い所を震源とする地震が増加しています。気象庁の体積ひずみ計や神奈川県温泉地学研究所の傾斜計による地殻変動観測では、山体の膨張を示すわずかな変化がみられています。国土地理院の地殻変動観測結果では、2012年末頃から、箱根山周辺の一部の基線にわずかな伸びの傾向がみられています。

11日頃から、駒ヶ岳付近の浅い所を震源とする地震が増加しています。地震回数は増減を繰り返しながら推移しており、日回数の最大は25日の19回でした。なお、2月1日(期間外)には日回数26回を観測しています。地震の規模の最大は25日15時52分に発生したマグニチュード(M)1.4で、震度1以上を観測する地震はありませんでした。火山性微動は観測されませんでした。

箱根山では、2001年6月から10月にかけて地震が多発し、国土地理院等の地殻変動観測結果でも山体の膨張を示す変化がみられ、噴気活動が活発化しました。

現時点では、観測されている地殻変動は小さく、噴煙等の状況に特段の変化はみられず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

三宅島【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】

22日16時38分頃、山頂火口でごく小規模な噴火が発生しました。白色の噴煙が火口縁上200mまで上がり、南東方向に流れました。同日夕方に行った現地調査では、島の東側の山麓(山頂火口から約3km)でごく少量の降灰を確認しました。この噴火に対応して振幅のやや大きな低周波地震と弱い空振が発生しました。この地震で、三宅村神着と三宅村役場臨時庁舎で震度1を観測しました。三宅島で噴火が発生したのは2010年7月21日のごく小規模な噴火以来です。

山頂火口からの噴煙高度は、火口縁上概ね100~300mで経過しました。8日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は1日あたり500トンで、やや多量の火山ガス放出が続いています。三宅村によると、山麓では時々やや高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

全磁力連続観測では、火山体内部の熱の状況に大きな変化は見られませんでした。

火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態で経過しました。震源は山頂火口直下に分布しており、これまでと比べて特に変化はありませんでした。火山性微動は少ない状態で経過しました。

GPS連続観測によると、2000年以降、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら現在も継続しています。島の南北を挟む基線では、2006年頃から深部の膨張を示す伸びの傾向がみられています。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺(雄山環状線内側)では噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに対する警戒が必要です。

硫黄島【火口周辺警報(火口周辺危険)及び火山現象に関する海上警報】

2012年4月下旬から5月初めにかけて火山活動が活発化し、国土地理院の地殻変動観測では、急速な隆起の後に沈降を観測しましたが、その後、沈降傾向は鈍化し、現在はほぼ停滞しています。火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。

今期間、11日から13日にかけて火山性地震の一時的な増加がみられましたが、地震活動は概ね静穏に経過しました。8日21時38分頃に火山性微動(単色型)が発生しましたが、振幅は小さく、継続時間も1分20秒程度と短いものでした。火山性微動が発生した時間帯に、火山性地震の増加や空振は観測されませんでした。また、表面現象は夜間のため観測できませんでした。硫黄島で火山性微動(単色型)が観測されたのは2012年9月28日以来です。

国土地理院の地殻変動観測では、今期間、地殻変動はほぼ停滞しています。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、2012年4月末に新たに噴気が確認された島北部や変色水がみられた北東沖、従来から小規模な噴火がみられていた島東部の海岸付近、島西部(井戸ヶ浜等)及び南東沖(翁浜沖)では噴火に対する警戒が必要です。

福徳岡ノ場〔噴火警報(周辺海域) 及び火山現象に関する海上警報〕

第三管区海上保安本部が 22 日に実施した上空からの観測によると、福徳岡ノ場の海面に火山活動によるとみられる湧出点付近において、乳白色の変色水が確認されました。また、23 日に海上自衛隊の協力により実施した上空からの観測では、同海域に幅約 100m、長さ約 400mの青白色から薄緑褐色の変色水を確認しました。なお、同海域に浮遊物は認められませんでした。

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場では長期にわたりしばしば火山活動によるとみられる変色水や浮遊物が確認されており、2010 年 2 月 3 日には小規模な海底噴火が発生しています。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に対する警戒が必要です。

霧島山(新燃岳)〔火口周辺警報(噴火警戒レベル 3、入山規制)〕

新燃岳では、今期間、噴火は発生しませんでした(最後の爆発的噴火は 2011 年 3 月 1 日、噴火は 2011 年 9 月 7 日)。噴煙活動に特段の変化はなく、白色の噴煙が火口縁上 100m以下で経過しました。

火山性地震の月回数は 31 回(2012 年 12 月: 25 回)と、少ない状態で経過しました。震源は新燃岳の北東に 11 個決定しました。その他のほとんどの地震の震源は火口直下と推定されます。火山性微動は 2012 年 3 月以降観測されていません。

24 日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の有意な値は検出されませんでした。(前回 2012 年 9 月 26 日: 1 日あたり 10 トン(最大値))。

国土地理院の広域的な地殻変動観測結果では、新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへのマグマの供給に伴う地盤の伸びの傾向は 2011 年 12 月以降鈍化・停滞しています。「えびの」-「牧園」、「牧園」-「都城 2」の基線で、2012 年 5 月頃からわずかに縮みの傾向が見られていましたが、同年 9 月頃から停滞しています。

新燃岳の北西数 km の地下深くのマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止した状態が続いています。しかし、火口には多量の溶岩が溜まっており、火口直下の火山性地震がわずかながらも続いていることから、現在でも小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。新燃岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。噴火時には、風下側で火山灰だけではなく小さな噴石(火山れき)が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。新燃岳の北西数 km の地下深くのマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止した状態が続いています。しかし、火口には多量の溶岩が溜まっており、火口直下の火山性地震がわずかながらも続いていることから、現在でも小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。新燃岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。噴火時には、風下側で火山灰だけではなく小さな噴石(火山れき)が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

桜島〔火口周辺警報(噴火警戒レベル 3、入山規制)〕

昭和火口では、活発な噴火活動が継続しました。噴火の回数は 124 回(2012 年 12 月: 55 回)で、そのうち爆発的噴火の回数は 96 回と先月(2012 年 12 月: 43 回)に比べ増加しました。また、大きな噴石が 3 合目(昭和火口から 1,300m~1,800m)まで達する爆発的噴火が、20 日 04 時 01 分、27 日 02 時 56 分と 31 日 23 時 42 分に発生しました。同火口では、夜間に高感度カメラで明瞭に見える火映を時々観測しました。南岳山頂火口では、ごく小規模な噴火が時々発生しました。

火山性地震の月回数は 1,058 回(2012 年 12 月: 813 回)と概ね少ない状態で経過しましたが下旬にやや多くなりました。震源は南岳直下の海拔下 1 km 付近でした。噴火に伴う火山性微動が発生しており、月回数は 230 回(2012 年 12 月: 453 回)でした。継続時間の月合計は 11 時間 42 分で、先月(2012 年 12 月: 59 時間 50 分)に比べ減少しました。

10 日、24 日、28 日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は 1 日あたり 1,700~4,100 トン(2012 年 12 月: 1,200~1,400 トン)と非常に多い状態でした。

有村観測坑道の水管傾斜計(大隅河川国道事務所設置)では、2012 年 2 月頃から山体の変動は停滞していましたが、2012 年 8 月頃からわずかに沈降しています。GPS 連続観測では 2011 年 9 月頃から桜島島内のわずかな伸びの傾向が続いていましたが、2012 年 10 月頃からわずかな縮みの傾向となっています。また、国土地理院の地殻変動観測結果によると、始良(あいら)カルデラ(鹿児島湾奥部)深部の膨張による長期的な伸びの傾向がみられます。

鹿児島地方気象台での観測では、降灰の月合計は 11g/m²(降灰日数 4 日)でした。鹿児島県が実施し

ている降灰の観測データから推定した火山灰の2012年12月の総噴出量は約50万トンでした。2012年1月から12月までの総噴出量は約660万トン（2011年：約450万トン）で、昭和火口の噴火再開（2006年）以降最も多くなっていますが、南岳山頂火口の噴火活動が活発であった1980、1990年代と比べると半分程度の量でした。

29、30日に実施した現地観測では、火口の形状に大きな変化はなく、夜間に肉眼で明瞭に見える火映を確認しました。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

御岳火口では、噴火は発生しませんでした。噴煙活動に特段の変化はなく、白色の噴煙が火口縁上200～300mで経過しました（最高500m）。同火口では期間を通して夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を観測しました。

火山性地震は少ない状態で経過しました。火山性微動は2012年9月28日からほぼ連続して発生しており、1月は常時発生しました。火山性微動の継続時間の月合計は744時間（2012年12月：622時間23分）でした。

御岳火口では、長期にわたり噴火を繰り返しています。今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

（火山の順は活火山総覧（第3版）による）

資料1 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成25年2月6日現在）

(1) 主な活火山

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年9月29日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日 噴火予報（平常） 2008年11月17日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）
	大雪山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年12月16日 噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年6月9日 噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	秋田焼山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年10月27日 噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	蔵王山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、平常）
日光白根山		噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
草津白根山		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）切替
浅間山		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日 噴火予報（レベル1、平常）
新潟焼山		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
焼岳		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
乗鞍岳		噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
御嶽山		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
白山		噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
富士山		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
箱根山		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
伊豆東部火山群		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	神津島	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	三宅島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	青ヶ島	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日 噴火警報（周辺海域警戒）
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	九重山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報 （レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日 噴火予報（レベル1、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	桜島	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
	薩摩硫黄島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日 噴火予報（レベル1、平常）
	口永良部島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日 噴火予報（レベル1、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の噴火警報・噴火予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

(2) その他の活火山

以下の活火山（*印を除く）では平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、*印の活火山では、活火山として選定された平成23年6月7日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山